



滝沢市消防団第7分団(担当川前・巣子地区)

発行責任者: 滝沢市議会議員 / 編集: 広報常任委員会

第59号

今号の主な内容

- 予算審査……………①～④
議決一覧……………⑤
会派代表質問……………⑥～⑦
かっこうのさえずり/
今後の予定など……………⑧

7年度一般会計予算決定

市域全体計画は7つの部門に分かれており、総合計画がめざす状態である「やさしさに包まれた滝沢」の実現に向けて、行政が担うべき分野と4年間の展開を明らかにした行政計画です。市民主体の地域づくり活動への支援と、市民生活の基盤を堅持するための取り組みを4年間で進めることとしています。

過去
最高額!

①市民環境部門

やさしさと絆で結ばれた、みんなで支え合い共に行動するまち

約25億円

事業数: 42

- 滝沢地域づくり活動推進補助事業
- 交流拠点複合施設管理運営事業ほか

②健康こども部門

こどもから大人まで安心して暮らし、健やかに成長できるまち

約58億円

事業数: 40

- 妊産婦保健事業
- 健康づくり事業ほか

③福祉部門

誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまち

約24億円

事業数: 55

- 生活困窮者自立支援事業
- 老人クラブ活動促進補助事業ほか

④経済産業部門

様々な産業の活性化が繋がり広がるまち

約12億円

事業数: 34

- 企業誘致事業
- 農業担い手育成対策事業ほか

⑤都市基盤部門

ひとにやさしく、誰もが快適かつ安全・安心に暮らせるまち

約13億円

事業数: 35

- 公園維持管理事業
- 都市計画総務事務ほか

⑥教育文化部門

学びにより充実した人生を送ることができるまち

約16億円

事業数: 64

- 小学校校舎等補修事業
- 伝統文化支援事業ほか

⑦政策支援部門

新たな価値を創造する人材の育成と持続可能な行財政経営を進める部門

約7億円

事業数: 22

- 行政DX推進事業
- トップマネジメント推進事業ほか

合計事業数: 292 約155億円

職員人件費・公債費
及び一般行政事務費 約67億円

合計約222億円



歳出 産業建設分野

所管事務調査に係る質疑

●地域公共交通維持確保事業

Q: 地域公共交通利用促進策の具体的内容は。

A: 小岩井駅が国の有形文化財に指定される予定であり、それを記念した利用促進イベントの開催、チャグバスの運行、職員の出張での利用促進、市公共交通マップの更新やイベントでのバス・タクシー車両の展示などを行います。

Q: 交通事業者への補助金支援による利用者への効果は。

A: 国庫補助バス路線の運行維持に約1,286万円、通学需要に対応した2路線へ約128万円、IGRの経営支援金約1,640万円を計上しています。これにより利用者の安全安心な移動手段が確保されます。



●向新田線道路改良舗装事業

Q: 中心拠点周辺道路の渋滞緩和策は。

A: 6年度設置した盛岡環状線と北側で接する交差点の右折レーンほか、7年度

Q: 関係市町や団体との協議内容は。

A: 鉄道や広域バス路線など幹線に位置づけられる路線は、国・県それから広域市町で、その枝線となるバス路線は県、各市町で維持確保、枝線に接続する地域内交通は、各市町が地域の特性に合ったさまざまな交通モードを導入して、地域住民の協働もお願いし、さらに福祉部門とも連携しながら維持確保することを協議しています。7年度は盛岡都市圏公共交通計画をより具現化した利便性増進計画を策定する中で、引き続き具体的な取り組みを協議します。



中の完了を予定している県道盛岡滝沢線右折レーンの設置および延伸、今後計画されている市道第1先古川線を南へ延伸し、盛岡滝沢線に接続することで、交通量の分散化が図られると考えます。

予算審査に係る質疑

●農業担い手育成対策事業

Q: 新規就農促進に向けた市民へのPR方法は。

A: 6年度に作成したパンフレット、ポスター、動画を活用しPRを強めるほか、県で年に2回行われている新農業人フェアに参加しPRをしています。また、新規就農メンター制度を活用し、新規就農者の定着を図っていきます。

●企業誘致事業

Q: 産業振興アドバイザーに期待することは。

A: 企業誘致や産業振興に関するアドバイスをいただいております。近年は産業振興へのアドバイスを多くいただき、企業振興だけではなく、観光物産や農業支援も含めた幅広いつながりを生み出すような活動となることを期待しています。

●公園維持管理事業

Q: 効率的な維持管理に向け、遊具の集約などの検討は。

A: 遊具の集約は今後の課題です。使えない遊具の更新を最優先としております。

●空き家対策推進事業

Q: 空き家の利活用に向けた取り組みは。

A: 6年度は空き家の流通促進を図るため、空き家バンクの運営、空き家バンク活用奨励金制度の創設、若者移住者を対象とした空き家取得改修補助、イベント出展や市の広報誌を活用したPRを行いました。7年度もこれらの利活用施策を継続して実施します。また、新たに国の補助金を活用し市外からの移住者を対象に、空き家取得または賃貸した方に改修した場合の補助制度を創設する予定です。



総括的質疑

総括的質疑は、各分野各事業にまたがったの質疑です。

《政策提言「滝沢市に必要な医療体制」について》

市内の医療機関や福祉施設との連携の方向性が7年度に作成する報告書へどのように反映されるのか。

6年度に実施した市民へのアンケート結果では、市が今後めざすべき地域医療体制の質問項目の回答で「身近なクリニック、診療所などが充実した医療体制の構築」が39%、「訪問診療やオンライン診療の充実により受診しやすい医療体制の充実」が11%で、約50%が住居の近くあるいは在宅で受診しやすい環境が整うことを望んでいます。

また、市内医療機関へのヒアリングで、医療と介護の連携を重視していくべきとの声が最も多くありました。

7年度は市内介護施設関係者へのヒアリング調査を実施予定で、その結果と6年度の調査結果を踏まえ、専門的知見をいただきながら報告書に反映させます。

《体制構築について》

支援が届いていない人に支援を届ける体制整備で、支援地域人口の創出活動も必要と考えるが、重層的支援体制整備事業で考慮されているか。

この事業では世代や属性を超えて交流できる場や居場所の整備を行うとともに、人と人、人と居場所をつなぎ合わせて交流、参加が生まれるように働きかける等、制度や分野ごとの縦割りや支え手受け手という関係を超えて社会に参画できるように地域共生社会の実現を考えています。

新たな人材を育成することもある大切ですが、現在はこのような地域資源を最大限に活用して実施したいと考えています。

《地域公共交通維持確保事業について》

市民ニーズに沿った地域交通が本予算で考慮されているか。

現在市が行っている

また、少人数および短距離の個別輸送ではタクシー公共ライドシェア、地域が主体で行う共助による輸送が有効と認識しており、地域住民が主体で行う取り組みに市が支援することを関係課と協議しています。

さらに、自治会などを対象とした研修会の実施、アンケート調査、地域のニーズや地域主体の運行サービスに関する意識レベルの調査などを行う予定であり、これらに関する予算を計上しています。

今後は小岩井地区のボランティア輸送をモデルとし、他の地域での共助輸送に対する取り組みの支援を考えています。

《交通弱者対策について》

交通結節点や目的地までの送迎をするため、自治会や福祉部門との具体的な協議、調整は。

地域内交通は、市が主体となって運行する公共ライドシェアの検討をしています。7年度は6年度に策定した地域内交通の運行方針に基づく公共ライドシェアに協力していただける交通事業者などと、実施の可否の具体的な協議を行い、運行計画を策定する予定です。

また、地域主体となる共助による輸送の役割は大変大きいと捉えており、地域や関係課との会議の中で、共助による運行の取り組みに対する予算化を行っています。

さらに、7年度は福祉部門と連携し、公共交通を利用できない高齢者などに対する福祉タクシーの助成や福祉有償旅客運送の拡充も検討しながら、福祉有償旅客運送の運転士確保の予算計上もしています。

市内の医療機関や福祉施設との連携の方向性が7年度に作成する報告書へどのように反映されるのか。

市内の医療機関や福祉施設との連携の方向性が7年度に作成する報告書へどのように反映されるのか。

市内の医療機関や福祉施設との連携の方向性が7年度に作成する報告書へどのように反映されるのか。

歳出 総務教育分野

所管事務調査に係る質疑

●学校教育指導事業

Q: ICT教育向上の具体的な実施内容は。

A: ICTを活用した授業を展開することで、児童生徒が自分の考えをまとめることが容易となり、主体的、対話的で深い学びを実現させる一助となると考えています。ICT教育の推進のため、小中学校ジョイントアップ・スクール事業を展開しており、7年度は姥屋敷小中学校、柳沢小中学校で学校公開研究会の開催を予定しています。小規模校でもICTを活用し、児童生徒の議論の活性化をめざしています。

Q: 予算400万円増の要因は。

A: クラウド版統合校務支援システム導入にかかり、各校での操作補助などのサポートにあたるICT支援員の新規雇用にかかる増です。



●不登校児童生徒解消対策事業

Q: 不登校の児童生徒に対するICT活用は。

A: 学習支援としてタブレット端末も有効であるということとで現在活用しています。不登校の児童生徒はさまざまな要因があるため、状況にあわせてタブレット端末を使った別室でのドリル学習やオンラインで授業などを見学する等、今後も学習への意欲を喚起していきます。



●小学校・中学校教育用コンピュータ管理事業

Q: 予算増の要因は。

A: タブレットの使用年数経過の自然故障、使用中の落下故障の修繕経費、校務支援システムの運用に伴う保守管理費の新設などによる増額です。

Q: ネットワーク及びタブレットの不具合への対策は。

A: 6年度に専門業者によるネットワークアセスメントを実施し、その報告を踏まえ改修整備を進めています。

ためにはInstagramでは画像を活用、Xでは即自性・共有性の強みを生かし、ユーザー層に向けた媒体を選びながら情報を発信していきます。

●地域愛着向上事業

Q: 7年度における「自分ごと化会議」の実施計画は。

A: 年に4回程度の会議を設け、会議の中で話し合うテーマは、庁内から募り課題を設定した上で、テーマをしばらく市民の皆さんと議論をしていきたいと考えています。

●小学校・中学校校舎等補修事業

Q: 各学校の要望箇所の具体的な対応計画は。

A: 学校要望は短期、中期での対応と大規模改修などの維持修繕以外での対応の3種類に分類し、状況を見ながらできるだけ多く手掛けたいと考えています。



予算審査に係る質疑

●滝沢市HP管理運営事業

Q: 改修されたHPを情報発信における基軸媒体とする具体的な方策は。

A: HPは即時性や適時性のほか各分野の情報を網羅的に掲載しているなど強みを持つ媒体であることから、今後の情報発信の中心として活用していきます。6年度にリニューアルしSNS連携の部分もより強化できるようになりました。7年度は各部署においてSNSを発信できるようにガイドライン等を検討しながら、今、伝えたいことや訴えたいことをHPを基軸にし、かつSNS媒体も活用して発信していきたいと考えています。

●デジタル発信推進事業

Q: 各SNSのターゲットに応じたアクセス数の増加策は。

A: 市の公式ユーチューブチャンネルで次世代を担う子どもを中心にさまざまな活躍にスポットをあて、動画作成を予定しています。アクセスを伸ばす

歳出 環境厚生分野

所管事務調査に係る質疑

●重層的支援体制整備事業（総合相談支援・権利擁護事業）

Q: 市民目線に沿ったワンストップでの相談対応は。

A: 介護、医療、福祉、健康の生活全般に関わる相談を受け付け、保健師、社会福祉士および主任介護支援専門員により相談内容を検討し、適切なサービス提供、相談支援機関への情報提供および連携を図る等、引き続き相談者の支援を行います。



●民生委員・児童委員設置事業

Q: 気象などに影響されない情報ツールの活用は。

A: 現在、活用はしていませんが、タブレット端末などを活用した資料提供の方法も考えられるため、関係者の意見を聞きながら協議していきます。

●重層的支援体制整備事業

Q: 市民の願いや課題把握に重点を置いた状況把握体制は。

A: 7年度からは、日々の相談業務、関係機関と各種の会議で、課題や状況の把握に努めます。

政策提言に係る質疑

●救急医療対策事業

Q: 初期救急体制の新たな仕組みづくりの検討は。

A: 岩手西北医師会などと連携しながら実施体制を維持していきますが、6年度の地域医療に関するアンケート、医療機関へのヒアリングの結果を勘案し、今後の方針を示します。

●がん検診事業

Q: 精検受診率の本市の目標値は。

A: 厚生労働省のがん対策推進基本計画で示されている精検受診率の目標値90%に対し、本市のこれまでの実績を踏まえ、胃がん、大腸がん、肺がんおよび

子宮頸がん検診は95%、乳がん検診は98%を目標値としています。

●在宅医療・介護連携推進事業

Q: 在宅医療の担い手となる医療機関の模索は。

A: 在宅医療と介護の連携体制を構築するため、訪問診療、訪問看護および介護サービス等について、市内、近隣市町村の医療資源を常時把握するとともに、関係機関と連携しながら適切に対応します。



予算審査に係る質疑

●放課後児童健全育成事業

Q: 放課後児童支援員の質向上の取り組みは。

A: 放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業の活用により、岩手県教育委員会が主催する研修会などを受講していただくことで質の向上を図っています。

●妊産婦保健事業

Q: 産後ケア直営型の実施体制は。

A: 直営デイサービス型開設の背景として、4市町が委託している医療機関の委託型産後ケアデイサービスに空きがない状況であるため、多くの方が産後ケアを利用できるようにと実施するものです。会場は市役所裏の分庁舎1階の休憩室、週2日の開設で2～3人の受け入れが可能と考えています。利用時

間は生後7か月までは最大5時間、8か月以降は2～3時間を計画しています。利用上限は委託型と合わせて5回と考えています。

●予防接種・感染症対策事業

Q: 带状疱疹ワクチン接種の具体的計画は。

A: 市内の医療機関に6年度内に予防接種実施の意向調査を行い、7年4月1日付けて契約を締結するために現在協議中です。接種対象者は65歳の人と60～64歳のうち免疫機能障害などがある人ですが、5年間経過措置があり、5歳年齢ごとの人も対象になります。7年度の対象者は約3,400人を見込んでおり、4月から対象者へ個別通知する予定で、接種希望者への周知漏れがないよう取り組みます。

令和7年3月会議（2月21日～3月19日）議案21件・諮問2件・同意1件・発議1件を審議

★可決議案

※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

案件名		概要			単位：千円
議案第 1 号	7 年度一般会計予算	22,252,000	前年度比 1,752,000	8.5%	増
議案第 2 号	7 年度国民健康保険特別会計予算	4,503,295	前年度比 52,752	1.2%	増
議案第 3 号	7 年度後期高齢者医療特別会計予算	637,887	前年度比 57,959	10%	増
議案第 4 号	7 年度介護保険特別会計予算	4,522,978	前年度比 108,033	2.4%	増
議案第 5 号	7 年度介護保険介護サービス事業特別会計予算	6,657	前年度比 574	9.4%	増
議案第 6 号	7 年度水道事業会計予算	支出ベース：1,728,161	前年度比 92,020	5.6%	増
議案第 7 号	7 年度下水道事業会計予算	支出ベース：1,746,809	前年度比 118,114	7.2%	増

議案第 8 号	6 年度一般会計補正予算（第 9 号）
議案第 9 号	6 年度国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）
議案第 10 号	6 年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第 4 号）
議案第 11 号	6 年度介護保険特別会計補正予算（第 5 号）
議案第 12 号	6 年度介護保険介護サービス事業特別会計補正予算（第 4 号）
議案第 13 号	6 年度水道事業会計補正予算（第 2 号）
議案第 14 号	6 年度下水道事業会計補正予算（第 1 号）
議案第 15 号	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正
議案第 16 号	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正
議案第 17 号	会計年度任用職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正
議案第 18 号	公共下水道事業分担金条例の一部改正
議案第 19 号	布設工事監督者及び水道技術管理者の資格等に関する条例の一部改正
議案第 20 号	市道路線の認定及び変更に関する議決
議案第 21 号	6 年度一般会計補正予算（第 10 号）
発議第 1 号	市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正

★上記の内、賛否が分かれた議案

結 果		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	表決議員数	賛成票数	反対票数
○賛成 ×反対		奥津 一俊	菅野 福雄	藤原 治	佐藤 澄子	柳橋 好子	日向 裕子	安部 理絵	村木 香織	川口 清之	仲田 孝行	小田島 清美	相原 孝彦	齋藤 明	山谷 仁	鍵本 桂	井上 仁	遠藤 秀鬼	日向 清一	稲荷 場 裕	角掛 邦彦			
議案第 1 号	7 年度一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	※	18	16	2
議案第 2 号	7 年度国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	※	18	16	2
議案第 4 号	7 年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	※	18	16	2
議案第 11 号	6 年度介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	19	18	1

★人事

※案件名は省略しています。正式名称の問合せは議会事務局へ。

案件名		名前
諮問第 1 号	人権擁護委員（適任）	北湯口 修 氏
諮問第 2 号	人権擁護委員（適任）	齊藤 好子 氏
同意第 1 号	監 査 委 員（同意）	栗山 隆一郎 氏

新たな取り組みの紹介

PickUp!

いきいき
滝沢

がん患者等支援のため、新たに医療用補整具及び骨髄ドナーの助成を実施します。がん検診を実施することにより、がんの早期発見と早期治療につなげ、がんによる死亡者数の減少をめざします。



PickUp!

はたらく
滝沢

地域産業の振興、雇用の拡大および IT 人材の育成を目的とし、岩手県立大学周辺地域に ICT 産業などの集積を図るため、新たな産業用地の整備を進めます。

Q：新たな産業用地の整備構想は。
A：現在の I P U イノベーションセンター西側に 14.9ha を拡張用地として検討中です。都市計画の市街化区域編入が 7 年 3 月下旬に完了見込みとなっており、地権者である県と用地取得に向けた協議を続けています。7 年度には基本設計、8 年度には実施設計、9 年度から造成工事を予定しています。

PickUp!

まなぶ
滝沢

市内に 2 つの大学が立地する特徴を生かし、若者が自己実現のためさまざまな分野で活躍できるよう、若者世代の活動に必要な伴走支援を新たに行い、学生を始めとした若者に対する人材育成を推進します。

Q：地域と学生をつなぐ具体策は。
A：学生が関心を寄せるテーマを設定し、共通の課題意識を持つ地域の方をつなぐ滝沢ミライプロジェクトのようなイベントが有効であると捉えています。



PickUp!

こども
まんなか
滝沢

感染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防するために予防接種を行い、公衆衛生の向上を図ります。

Q：おたふくかぜの一部助成の内容は。
A：生後 12 か月から 24 か月を対象に市が委託契約している医療機関で初回 1 回目の接種に限り 4,000 円を公費負担するものです。助成を超えた自己負担分を直接診療所などに支払っていただく方式を考えています。



PickUp!

つながる
滝沢

社会活動へチャレンジする若者に向けた補助制度の新設や、若者との連携・交流による地域内の人材定着、U I ターン人材の確保をめざした取り組みを進めます。

Q：人材定着や U I ターン人材確保のために、市内の集合住宅を借り上げ提供する等の検討は。
A：市では人材確保のために集合住宅を借り上げることは考えていません。若者が求めていることは、近くに働きたい仕事があることと捉えています。

1

蓄電・非常用発電装置の設置工事
(葉の木沢山活動センター災害時等電源供給システム設置事業)

2

子育て世帯訪問支援・親子関係形成支援・ヤングケアラー支援体制強化等
(子育て家庭支援事業)

3

妊婦のための支援給付金
(妊婦のための支援給付事業)

4

胸部補整具及び骨髄ドナーの助成
(がん検診事業)

5

おたふくかぜワクチン任意接種の助成
(小児等予防接種事業)

6

5 歳児健康診査の実施
(乳幼児保健事業)

7

IT 産業人材育成モデル構築事業
(産業人材育成事業)

8

基本設計業務委託等
(ICT 産業集積拠点整備事業)

9

若者応援補助金
(若者活躍の場づくり推進事業)

10

学生人材育成業務
(大学未来共創事業)

11

基本計画策定業務委託等
(滝沢消防署整備事業)

会派代表質問 《3月会議》

●市長施政方針について ●教育施政方針について

○中心拠点商業地区開発事業の方針について
○学校給食の安全安心な地元産食材について等



滝政会
ひなた せいいち
日向 清一 議員

【問】中心拠点商業地区開発事業の今後の方針は。
【答】民間開発事業者が行っている中心拠点商業地区の開発は、造成工事が2月末時点で進捗率が約9割に達し、順調に進んでいると伺っています。

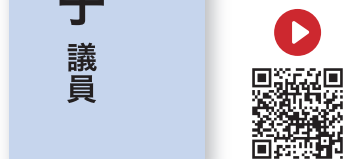
市では商業施設などの立地が決定していない一部を民間開発事業者との調整会議を通じて情報を共有し、引き続き連携を図りながら推進します。

【問】市民主体の地域づくりに対する支援は。
【答】市内11の地域づくり懇談会で策定した地域別計画の推進が重要と考え、滝沢地域づくり活動推進事業費補助金を交付し、積極的に支援します。



【問】中心拠点商業地区開発事業の民間開発業者との連携は。
【答】現在、商業施設などの立地が決まっていない

○妊産婦保健事業への具体的な方針について
○確かな学力を育む教育の推進について等



市民クラブ
やなぎばし こうこ
柳橋 好子 議員

【問】人口減少社会をチャンスと捉え、やさしさに包まれた滝沢を実現する確信の根拠は。
【答】本市は県都盛岡市に隣接し、国道や高速道路という地理的条件、豊かな自然環境と都市としてのバランスが良い生活環境などがあると考えます。

【問】観光および物産振興の基本方針は。
【答】滝沢ならではの観光資源の魅力を高め、観光客による消費活動が地域の更なる深化や本市の魅力を発信することにより実現できると確信しています。

【問】妊産婦保健事業の具体的な方針は。
【答】妊娠中から出産・子育てに関する知識の普及と仲間づくりの場の提供とともに、産後ケア事業の拡充で母子の心身のケアに取組みます。

【問】子ども医療費給付の更なる拡充策について等
【答】5年度には高校生等

【問】子ども医療費給付の更なる拡充策について等
【答】5年度には高校生等



日本共産党
なかつ たかゆき
仲田 孝行 議員

【問】災害に強い地域づくりで、滝沢消防署新庁舎建設に向けた取り組みは。
【答】現在、消防車両を屋外駐車している状況やトイレ、浴室などを含め、緊急避難所としての活用など、多様化する消防防災拠点としての機能が満たされるよう新庁舎建設を進めます。

【問】市民の健康づくりで、どのように運動習慣を身につけさせるのか。
【答】生活習慣病の予防には、適度な運動を習慣化することが有効であるため、歩くことに注目し、ウォーキング事業を継続的に実施して市民の運動習慣の定着を図ります。

【問】地域医療体制を適正に維持させるための取り組みは。
【答】岩手西北医師会や市内医療機関と連携し、各種健康診査、予防接種、休日救急当番医などの実施体制を維持します。

【問】子ども医療費給付の更なる拡充策は。
【答】5年度には高校生等



【問】子ども医療費給付の更なる拡充策は。
【答】5年度には高校生等

○施設集約や自治会の統合を図ることについて
○特定財源の確保に係る取り組みについて等



自由民主クラブ
かきもと けい
鍵本 桂 議員

【問】滝沢市観光物産協会と滝沢市商工会との具体的な連携策は。
【答】チャグチャグ馬コのPRとチャグチャグ馬コふれあいまつりの共催、滝沢を実施するほか、登山やキャンプ、サイクリング等のアドベンチャー・トラベルの取り組みを推進します。

【問】ICT産業集積拠点整備事業における用地取得の進捗状況は。
【答】7年3月に市街化区域に編入見込みで、地権者の県からは用地の提供は概ね同意を得られています。

【問】地区集会所の施設集約と細分化された自治会の統合を図る支援は。
【答】現時点で施設集約や自治会統合という観点での相談は受けていませんが、地域の皆様と対話を重ね、集会所や自治会組織などの現状と課題を明確に共有し、地域に応じた環境づくりと市への愛

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等



公明党
あいばら たかひこ
相原 孝彦 議員

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

【問】若者活躍の場づくり推進事業の問題について
【答】公園でのボール使用規制の緩和について等

★討論

議案第1号 7年度一般会計予算	
【反対】仲田 孝行 議員（日本共産党） 子ども医療費の無償化では完全無償化までの行程が明らかではありません。また、小中学校の学校給食費無償化でも6年度から多くの自治体で無償化を大きく進めているにも関わらず、本市では進められていません。保護者の声が反映されていない本予算に反対します。	【賛成】奥津 一俊 議員（会派に属さない議員） 第2次滝沢市総合計画前期基本計画で定める5つの視点の実行に向け、若い世代の定住や活躍にも焦点を当てた事業の展開手法などで、より多くの市民が市政に参加できる環境づくり、公平性と安心を得る確かな行政体制を構築する施策推進計画が図られていると考え、本予算に賛成します。
議案第2号 国民健康保険特別会計予算	
【反対】仲田 孝行 議員（日本共産党） 総額は前年度比1.2%、約5,200万円増の約45億300万円余で歳入面では国民健康保険税が前年度比3.1%減の約7億5,100万円余で加入者減が反映されています。協会けんぽと比べて高すぎる保険税の引き下げ、18歳以下の子どもの均等割りの軽減や廃止による子育て支援拡充などが必要と考え反対します。	【賛成】村木 香織 議員（自由民主クラブ） 保険給付費に関してはレセプト点検の徹底、重複多受診者訪問、ジェネリック差額通知などの医療費適正化の取り組み、保険事業に関しては特定健康診査や特定保健指導で被保険者の健康増進に努力されています。更なる医療費の抑制につながる政策に期待し賛成します。
議案第4号 介護保険特別会計予算	
【反対】川口 清之 議員（日本共産党） 7年度の予算は、約45億2,000万円余で前年比2.4%の微増です。歳入では、国庫支出金は約8億300万円余で前年比1.6%の減少、県補助金は約6億4,600万円の前年比2.7%増加しています。働く現役世代が介護のために仕事を辞める介護離職や要介護者の家族の負担増など、現役世代にとって重大問題であるため反対します。	【賛成】安部 理絵 議員（自由民主クラブ） 誰もが自分らしい暮らしと生きがいをもてるまちの実現を趣旨とした第9期滝沢市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の具現化のため、直営と委託型の地域包括支援センターの連携と支援体制の強化を図っている点、介護予防事業の展開や市民主体の活動支援を図っていること等から、本予算は適切と考え賛成します。



かっこうのさえずり

No.14

市民のみなさんの声をシリーズでお届けします。



プロフィール

○職業：紙芝居師・絵本専門士

○趣味：山登り・ウクレレ

○夫と高校生2人の4人家族

私が最も伝えたいこと

《きっかけ》

自転車紙芝居を始めたのは、保育の現場を離れた時に自分一人で作れることで、たくさんの子どもと触れ合う機会を持ちたいと思ったところにあります。紙芝居はもともと「紙と芝居」だったという魅力にも惹かれ「演じることが大好きな自分」にピッタリだと思いました。

紙芝居を通してたくさんの子ども達にお話の楽しさを体験してほしいので、自分から子ども達の中に飛び込んでいくスタイルを大事にしています。

また、今の子ども達はゲームなどで顔の知らない人と繋がる環境の中で育っているからこそ、昭和の娯楽のない時代に子ども達が肩を寄せ合って、紙芝居の楽しさを一緒に共有し合うという感覚を体験することが大切だと思っています。

《紙芝居の相棒》

腹話術で「けんちゃん」が登場すると子ども達は驚くけれど、最後には大好きになって距離が縮まります。

《自転車紙芝居から紙芝居キッチンカーに!》

今後の活動として、今年からおいしいものと楽しいものを乗せて、子どもから大人まで楽しんでいただけるように、より多くの場所に行きたいと思っています。



紙芝居のワクワクをたくさんの方に届けたい 紙芝居師ちーぼう(小川千春さん)

～お知らせ～

議会報告会を開催します



詳しい内容・日程は市HPをご覧ください。

6～8月の予定

6月 5日(木)	議会運営委員会 全員協議会	8月 1日(金)	議会運営委員会 全員協議会
6月12日(木)	6月会議	8月19日(火)	予算決算常任委員会
6月13日(金)	各常任委員会	8月21日(木)	予算決算常任委員会
6月16日(月)	6月会議(一般質問)	8月25日(月)	議会運営委員会 全員協議会
6月18日(水)			
6月20日(金)	6月会議 議会運営委員会	8月26日(火)	予算決算常任委員会
		8月28日(木)	予算決算常任委員会
7月 8日(火)	議会運営委員会 全員協議会	このほか常任委員会ごとに随時日程を決定し活動します。いずれの会議も傍聴することができます。お気軽におこしください。	

議会に
おでんせ!

傍聴者数
3月会議…11名



市議会のくわしい情報は、滝沢市議会ホームページをご覧ください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

滝沢市議会

Q検索

議会事務局 〒020-0692 岩手県滝沢市中鶴飼55 TEL.019-656-6591 FAX.019-684-4195
https://www.city.takizawa.iwate.jp/ E-mail:gikai@city.takizawa.iwate.jp

UD FONT
見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。